

履修科目免除制度（福祉科以外）

下記の条件に当てはまる方から申請に基づいて、本学での教育内容に該当すると認められる場合には、総履修時間数の2分の1を超えない範囲で科目の履修を免除することができます。

1. 対象学科

東海医療科学専門学校

看護科、理学療法科、作業療法科、柔道整復科、言語聴覚科

東海医療工学専門学校

救急救命科

2. 対象者

① 看護科

大学（短期大学を含む）、高等専門学校及び歯科衛生士、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、臨床工学技士、義肢装具士、救急救命士、言語聴覚士の養成校で免除対象科目を履修された方

② 理学療法科

大学（短期大学を含む）、高等専門学校及び作業療法士養成施設、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、視能訓練士、臨床工学技士、義肢装具士、救急救命士、言語聴覚士の養成校で免除対象科目を履修された方

③ 作業療法科

大学（短期大学を含む）、高等専門学校及び理学療法士、看護師の養成校で免除対象科目を履修された方

④ 柔道整復科

大学（短期大学を含む）、高等専門学校及びあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、看護師、歯科衛生士、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、臨床工学技士、義肢装具士、救急救命士、言語聴覚士の養成校で免除対象科目を履修された方

⑤ 言語聴覚科

大学（短期大学を含む）、高等専門学校及び高等学校の専攻科、防衛医科大学校、職業能力開発校、職業能力開発短期大学校、職業訓練短期大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発総合大学校、看護師、歯科衛生士、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、臨床工学技士、義肢装具士、救急救命士の養成校で免除対象科目を履修された方

⑥ 救急救命科

大学（短期大学を含む）、高等専門学校及び防衛医科大学校、看護師、准看護師、歯科衛生士、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、臨床工学技士、義肢装具士、言語聴覚士の養成校で免除対象科目を履修された方

3. 免除対象科目

本校での教育内容に該当するものと認められる場合には、全科目の総履修時間数の2分の1を超えない範囲で科目の履修を免除することができます。

① 看護科

分野	教育内容	授業科目	単位	時間数
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	社会学	1	30
		自然と環境学	1	15
		文化と家族	1	30
		宗教と生命	1	15
		ボランティア論	1	15
		対人関係論	1	15
		心理学	1	30
		カウンセリング論	1	30
		医療基礎英語	1	30
		医療応用英語	1	30
		医療基礎中国語	1	30
		思考とプレゼンテーション	1	30
		情報科学	1	30
		研究の基礎	1	30

② 理学療法科

分野	教育内容	授業科目	単位	時間数
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	情報科学	2	30
		心理学	2	30
		英語	2	30
		コミュニケーション論	2	30
		統計学	2	30
		保健体育	2	30
		レクリエーション論	2	30
		社会学	2	30

③ 作業療法科

分野	教育内容	授業科目	単位	時間数
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	情報科学	2	30
		統計学	1	15
		心理学	1	15
		教養学	1	15
		レクリエーション学Ⅰ	2	30
		レクリエーション学Ⅱ	2	30

	英語 I	1	15
	英語 II	1	15
	社会学	2	30
	国語学	1	15
	美術学	1	15

④ 柔道整復科

分野	教育内容	授業科目	単位	時間数
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	情報科学	2	34
		英語	1	17
		生物学	1	17
		心理学	1	17
		教養学	1	17

⑤ 言語聴覚科

分野	教育内容	授業科目	単位	時間数
専門基礎分野	基礎医学系	医学概論	1	15
		解剖学	2	50
		生理学	1	30
		病理学	1	20
	臨床医学系	内科学	1	30
		小児科学	1	30
		精神医学	1	15
		リハビリテーション医学	2	40
		耳鼻咽喉科学	1	30
		臨床神経学 I	1	30
		臨床神経学 II	1	30
		形成外科学	1	15
	臨床歯科医学系	臨床歯科医学	1	30
	音声・言語・聴覚 医学系	呼吸発声発語系医学	1	30
		聴覚系医学	1	30
		神経系医学	1	30
	心理学系	臨床心理学	2	40
		生涯発達心理学	2	40
		学習・認知心理学	2	30
		心理測定法	1	30
	言語学系	言語学	2	40
	音声学系	音声学	2	60

	音響学系	音響学	1	30
		聴覚心理学	1	30
	言語発達学系	言語発達学	2	40
	社会福祉・教育系	社会保障制度	1	24
		リハビリテーション概論	1	15
		医療福祉教育・関係法規	1	15
小 計			36	849
専門分野	言語聴覚障害学 総論系	言語聴覚障害概論Ⅰ(小児)	1	30
		言語聴覚障害概論Ⅱ(成人)	1	30
		言語聴覚障害診断学Ⅰ(小児)	1	30
		言語聴覚障害診断学Ⅱ(成人)	2	40
	失語・高次脳機能 障害学系	失語症Ⅰ(基礎理論・訓練理論)	2	40
		失語症Ⅱ(検査)	1	30
		失語症Ⅲ(評価・訓練・症例検討)	2	50
		失語症Ⅳ(スクリーニング、訓練プログラム の作成)	1	30
		高次脳機能障害Ⅰ(基礎理論・検査)	1	30
		高次脳機能障害Ⅱ(評価・訓練・症例 検討)	1	30
	言語発達障害 学系	言語発達障害Ⅰ(概論・MR・SLI・S-S 法)	2	60
		言語発達障害Ⅱ(各論・評価・実習)	2	70
		言語発達障害Ⅲ(PDD・LD)	1	20
		言語発達障害Ⅳ(CP・重心)	1	30
	発声発語・嚥下 障害学系	音声障害	1	30
		構音障害Ⅰ(運動障害性基礎理論)	1	30
		構音障害Ⅱ(運動障害性総合・演習)	2	40
		構音障害Ⅲ(機能性)	1	15
		構音障害Ⅳ(器質性)	1	30
		嚥下障害Ⅰ(基礎理論)	1	30
		嚥下障害Ⅱ(総合・演習)	2	40
		吃音	1	15
	聴覚障害学系	聴覚障害Ⅰ(小児)	1	30
		聴覚障害Ⅱ(各論・小児演習)	2	46
		聴覚障害Ⅲ(成人)	1	15
		聴覚障害Ⅳ(各論・成人演習)	1	30
		視覚・聴覚二重障害	1	15

		聴力検査(理論・演習)	1	30
		補聴器(理論・演習)	1	30
		人工内耳	1	15
	臨床実習系	臨床実習Ⅰ	1	40
		臨床実習Ⅱ	11	440
選択必修	総合科目	リハビリテーション運動学	1	15
		実習報告会・模擬試験	2	40
小計			53	1496
合計			89	2345

⑥ 救急救命科

分野	教育内容	授業科目	単位	時間数
基礎分野	科学的思考の基礎	化学	2	30
		生物学	2	30
		情報科学	2	30
	人間と人間生活	心理学	1	16
		英語	2	30
		体育	2	30

4. 免除対象科目

免除対象科目の履修を免除するとともに、入学後、該当科目分の学費(1科目につき10,000円)を返還します。

5. 申請方法

合格後、入学手続き時に本校所定の「履修科目免除申請書」に、単位の取得を証明する書類(成績証明書)及びシラバスを添えて提出してください。

6. 免除判定の通知

審査後、結果を郵送にて通知いたします。

※必ずしも申請内容がそのまま認められるとは限りませんので、ご了承ください。

7. 本件に関する問い合わせ先

学校法人セムイ学園 入学サポートセンター

所在地：〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-7-2 東海医療科学専門学校内

電話：052-561-8001 email：info@tokai-med.ac.jp

履修科目免除申請書

東海医療科学専門学校
東海医療工学専門学校
学校長 殿

受付日	※ 年 月 日
受付番号	※

※記入不要

申請者

志望学科 _____

氏 名 _____ 印

〒 _____

住 所 _____

電話番号 (_____) _____

私は、以下の科目を履修免除科目として承認していただきたいので、証明書を添えてここに申請いたします。

令和 年 月 日

履修免除を希望する本校の開講予定科目				他校で修得した科目		
No.	科目名	単位数	時間数	科目名	単位数	時間数
例	心理学	1	30	心理学概論	1	30
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※記入欄が足りない場合は、複写してご利用ください。

免除希望科目を履修した大学、養成所

学校・文教研修施設名	所在地
〒 _____	_____

※学校・文教研修施設・養成所については、学部・学科・コース名まで詳細に記入すること。

【添付書類】

- 既修得科目の単位修得証明書または成績証明書
- 既修得科目の教育内容がわかる書類（シラバス等）